

新型コロナに有効！

衛生的な職場環境

健康は従業員とその家族

そして地域に貢献していくために…

らクリーンは
経済産業省推奨の
コロナ対策原料を
使用しています！



職場・家族・学校・公共施設・地域活動などに役立つ

除菌・抗菌クリーナー

らクリーン

選ばれるのには

3つの理由がある！

① 肌にやさしい

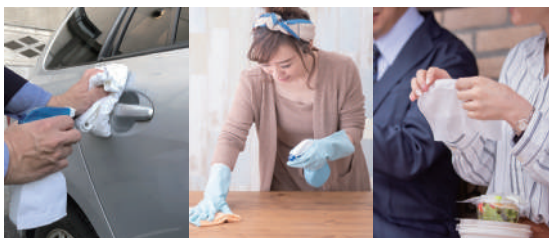
アルコール系製剤や塩素系製剤と比較して、肌にやさしく臭いも気になりません。

② 第四級アンモニウム塩系を使用

成分は「塩化ジアルキルジメチルアンモニウム」、「塩化ベンザルコニウム」を配合。除菌と抗菌ダブル効果を併せ持つ優れたものです！

③ 素材の劣化、腐食、脱色の心配が無い

アルコール系製剤に見られるプラスチックの白化やゴム製品、合成樹脂の劣化・塩素系製剤による金属腐食や脱色作用、臭気の手配がありません。



揮発・引火性はございません

※皮膚刺激性、粘膜刺激性は極めて弱いが、濃厚な液を皮膚・粘膜に用いた場合、刺激症状が現れる場合があります。

5倍希釈（本液1：水4）

販売店代理店：

製造元：

経済産業省推奨 コロナ対策原料使用



「らクリーン」と他製品との比較

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します（第二弾）

2020年5月29日

同時発表：（独）製品評価技術基盤機構

本件概要

新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、家庭や職場におけるアルコール以外の消毒方法の選択肢を増やすため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）は、経済産業省の要請に応じ、消毒方法の有効性評価を実施しています。（4月15日ニュースリリース）

昨日5月28日、有識者による検討委員会（第4回）が開催され、塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）、塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）について、新型コロナウイルスに対して有効と判断されました。

これにより、有効と判断された界面活性剤は次の7種となりました。

- 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
- アルキルグリコシド（0.1%以上）
- アルキルアミノオキシド（0.05%以上）
- 塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）
- 塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）【5月28日追加】
- 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）【5月28日追加】
- ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）

これらの界面活性剤の活用について、ポスターを作成している（[関連資料①](#)）ほか、NITEのサイトに洗剤のリストを掲載していますので、御活用ください。

なお、「次亜塩素酸水」については、今回の委員会では判定に至らず、引き続き検証試験を実施することとされました。

また、事務局において、「次亜塩素酸水」の販売実態や空間噴霧について現時点での事実関係をまとめ、報告しています。（[関連資料②](#)、[③](#)）

さらに詳しくは、[関連リンク](#)にあります独立行政法人製品評価技術基盤機構サイトに、検討委員会資料として公表しておりますので、あわせてご覧ください。

	らクリーン 第四級アンモニウム塩 (非塩素系)	アルコール (エタノール)	次亜塩素酸 ナトリウム (非塩素系)
除菌持続性	◎ 残留時間が長く効果の持続性がある	△ 揮発により効果の持続性がない	○ 分解により除菌効果が低下
安全性	◎ 非常に高い	△ 刺激性・手荒れの発生 アレルギー反応作用 高濃度の場合に引火性がある	△ 金属腐食・脱色作用
洗浄力	◎ 残留時間が長く効果の持続性がある	○ 使用箇所に有機物（タンパク質や脂肪分等の汚れ）があると効果が低下	○ 使用箇所に有機物（タンパク質や脂肪分等の汚れ）があると効果が低下
対象材質への影響	◎ 影響無し	△ プラスチックの白化ゴム製品や合成樹脂の劣化	△ 金属腐食・脱色作用

※本資料に掲載の数値はあくまでも試験評価結果に基づく数値であり、実際の使用空間における実証数値ではありません。

私達の生活の色んな場所で活躍！

